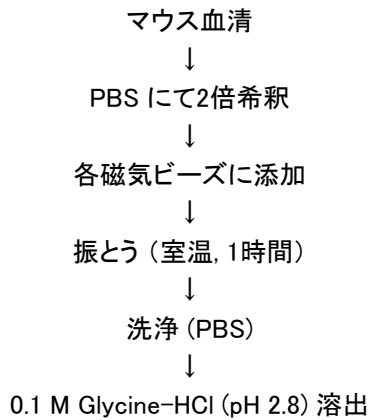
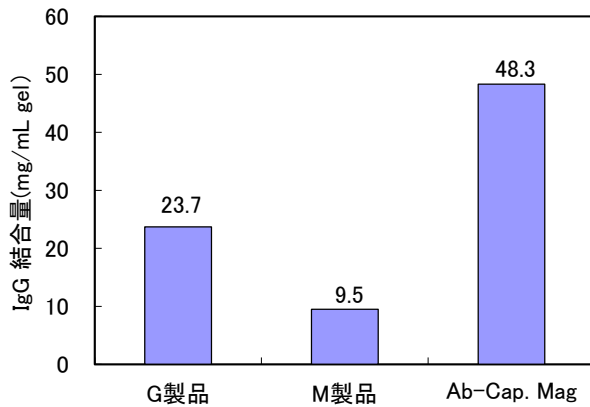


# Ab-Capcher Mag を用いた マウス血清からの IgG 精製

## 精製の流れ



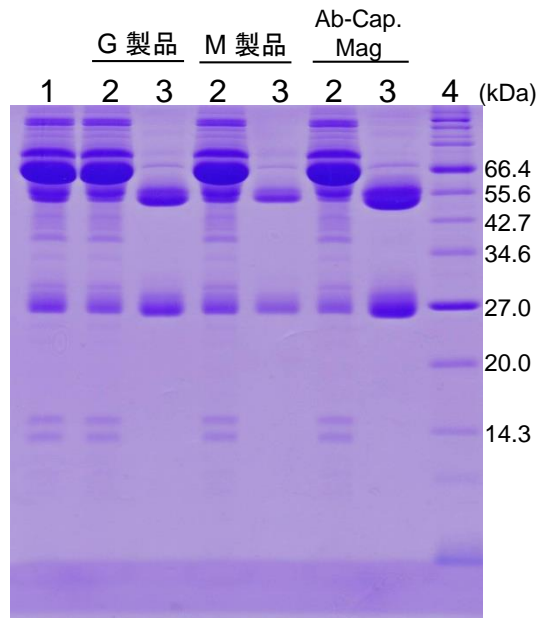
## 各製品のマウス IgG 結合量



## 電気泳動結果

SDS-PAGE  
ゲル: 15% (Tris-Glycine)  
染色: CBB

レーン 1: Serum  
レーン 2: Flow through  
レーン 3: Eluate  
レーン 4: MW marker



G製品: Protein A Mag Sepharose Xtra  
M製品: PureProteome プロテインA 磁気ビーズ

マウス血清から Ab-Capcher Mag と結合量が高いとされている他社磁気ビーズを用いて IgG を精製し、その収量と純度を比較した。その結果、Ab-Capcher Mag は G製品の約2倍、M製品の約5倍量の IgG を精製できることがわかった。  
また溶出画分を電気泳動にて純度チェックしたところ、精製純度は良好であった。

## プロテノバ株式会社

〒769-2604  
香川県東かがわ市西村1488番地1  
TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703  
ホームページ <http://protenova.com>